

船舶事故等調査報告書

平成24年8月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第70号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年3月24日（土） 16時30分ごろ	
発生場所	山口県周防大島町屋代島南岸沖 周防大島町所在の大石灯標から真方位334° 2,730m付近 (概位 北緯33° 56.5′ 東経132° 27.6′)	
事故等調査の経過	平成24年4月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	プレジャーボート <sup>かいしゅう</sup> 海将丸、1.4トン	
船舶番号、船舶所有者等	YG3-62038（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ先端部に曲損、船底に擦過傷等	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、屋代島南岸沖で漂流し、たこ壺 <sup>つぼ</sup> を引き揚げ中、船長が獲れたタコの収容などに注意を向けていたところ、風により圧流され、平成24年3月24日16時30分ごろ陸岸付近の浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風速 約4m/s、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、屋代島南岸沖で漂流中、船長が風によって圧流されていることに気付かなかったことから、同島南岸付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、屋代島南岸沖で漂流中、船長が風によって圧流されていることに気付かなかったため、同島南岸付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・付近に浅所が存在する海域では、自船と浅所との距離を適切に確保するよう、慎重な操船を行うこと。	